

【ご報告】平塚市勝原小学校で環境授業が開催されました。

平成18年度助成先の平塚市勝原小学校で、10月23日、太陽光発電設備を設置したNPO法人ソフトエネルギープロジェクトの佐藤さんとメンバーの方たちにより、5年生111名を対象に「ソーラーエネルギー体験教室」を行いました。

まず、全員が音楽室に集まり、佐藤さんのお話を聞きました。熱中症により子どもが亡くなったことやゲリラ豪雨による被害など地球温暖化によると思われる現象が身近なところで起こっており、その背景には日本のエネルギー消費が大きく変化していることが関わっていて、地球温暖化はツバルなど遠い世界の話ではない、自分たちの将来の希望を失わせるものだ、また、そうならない様にできることから行動しよう、というメッセージを力強く伝えました。

次に子どもたちは屋上に移動し、太陽光発電設備の見学を行いました。このときグリーン電力基金事務局から、この発電設備は参加者のみなさまからのご寄付をいただき、助成を行ったことを説明し、社会に貢献することの大切さをPRさせていただきました。

佐藤さんからは発電量は日照時間や空気が澄んでいることなどによって変化すること、季節でいうと春、1日でいうとお昼頃に発電量が多くなるなどのお話がありました。

子どもたちは初めて見る太陽光パネルに興味津々でパネルに触れて感触を確かめていました。

そのあとよいよ校庭に出てお楽しみのソーラーエネルギーの体験教室を行いました。「ソーラーグッズ」、「NEO体験」、「省エネ」、「手回し発電」、ソーラーカーの試乗、「ソーラークッカー」の6つのコーナーがあり、111名の子どもがすべてのコーナーを体験しました。一番人気があったのは「ソーラーカー」だったようです。

最後に全員が集合して質問に答えたあと、三択クイズ形式で復習を行いました。多くの子どもが正解しましたので、今回の体験教室を通してエネルギーや環境問題について考え、興味を持つことができたようです。

最後に「ソーラーグッズはどこで買えますか」という質問があり、佐藤さんから「秋葉原の電気屋さんです。通販もできます。」とのお答えをいただきましたので、早速実践に移されるお子さんも出てきそうです。

